

海洋熱波!?

沿岸酸性化!?

最新研究からみた 志津川湾のいまと未来

海で起きている異変について、ご存知でしょうか？
私たちに豊かな恵みをもたらす海の生態系は、
いま、大きな危機に晒されています。
今回は、最前線で研究をされている研究者の方々から、
志津川湾の「いま」と「未来」についてお話し頂きます。

日時

2023. **12.23** (Sut)
10:00~12:00 [開場：9:30]

場所

南三陸町自然環境活用センター
(南三陸ネイチャーセンター)
宮城県本吉郡南三陸町戸倉沖田 69-2

定員

30人 (オンライン配信あり)

参加申し込み



QRコードから
申し込み頂けます。
※オンライン参加の場合も
申し込みをお願い致します。
連絡先：hoshisora@m-sustainable.org

内容

第1講

地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化
が海洋生態系に及ぼす影響

東京大学 大気海洋研究所
大槌沿岸センター 教授

藤井 賢彦氏



第2講

沿岸域における酸性化と貧酸素化の特徴：
私たちに何ができるか？

水産研究・教育機構 水産資源研
究所 海洋環境部 主幹研究員

小埜 恒夫氏



座談会

研究者 × 参加者

これからの南三陸の海について

講師のお二人に加え、ネイチャーセンターの阿部
拓三研究員と、地域の漁業者らも交え、海の課題
にいかに対処すべきか考えます。

講師プロフィール

地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化が海洋生態系に及ぼす影響

東京大学 大気海洋研究所
大槌沿岸センター 教授

藤井 賢彦氏

横浜市出身。
九州大学理学部地球惑星科学科卒、北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程修了。博士（地球環境科学）。
国立環境研究所、米国メイン州立大学海洋科学部、北海道大学大学院地球環境科学研究院を経て、2023年4月より現職。
専門は環境科学・海洋学。
著書に『海の温暖化 - 変わりゆく海と人間活動の影響-』（朝倉書店、共著）、『水産海洋学入門 海洋生物資源の持続的利用』（講談社、共著）など。
潜水土、温泉マイスター。



地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化が海洋生態系に及ぼす影響

水産研究・教育機構 水産資源研究所
海洋環境部 主幹研究員

小笠 恒夫氏

茨城県出身。
北海道大学水産学部卒業。博士（水産学）。
地球フロンティア研究システム研究員等を経て、2002年より現研究所に勤務。温暖化、酸性化等の海洋生態系に与える影響を研究している。「酸性化適応プロジェクト」では志津川湾や瀬戸内海で観測されたpHデータの解析を行なっている他、隔月で岩手に出張して宮古地区のpH調査を行ってきた。
「ひゅうず」は手がベタベタになるので好きでない。
米まんじゅうが至高。



講座で学べるトピックス

これまでのトピックスに加え、最新研究によって、明らかになってきた問題についてもお話し頂きます！

地球温暖化

海洋酸性化

貧酸素化

沿岸酸性化

海洋熱波

問い合わせ

一般社団法人サスティナビリティセンター
宮城県本吉郡南三陸町志津川御前下 25

HP:<http://m-sustainable.org>

Tell:050-5236-2263(代表)

Mail:hoshisora@m-sustainable.org(担当:星)

本イベントは、公益財団法人 日本財団の助成を受けて開催します。



サスティナビリティセンター
Center for Sustainable Society